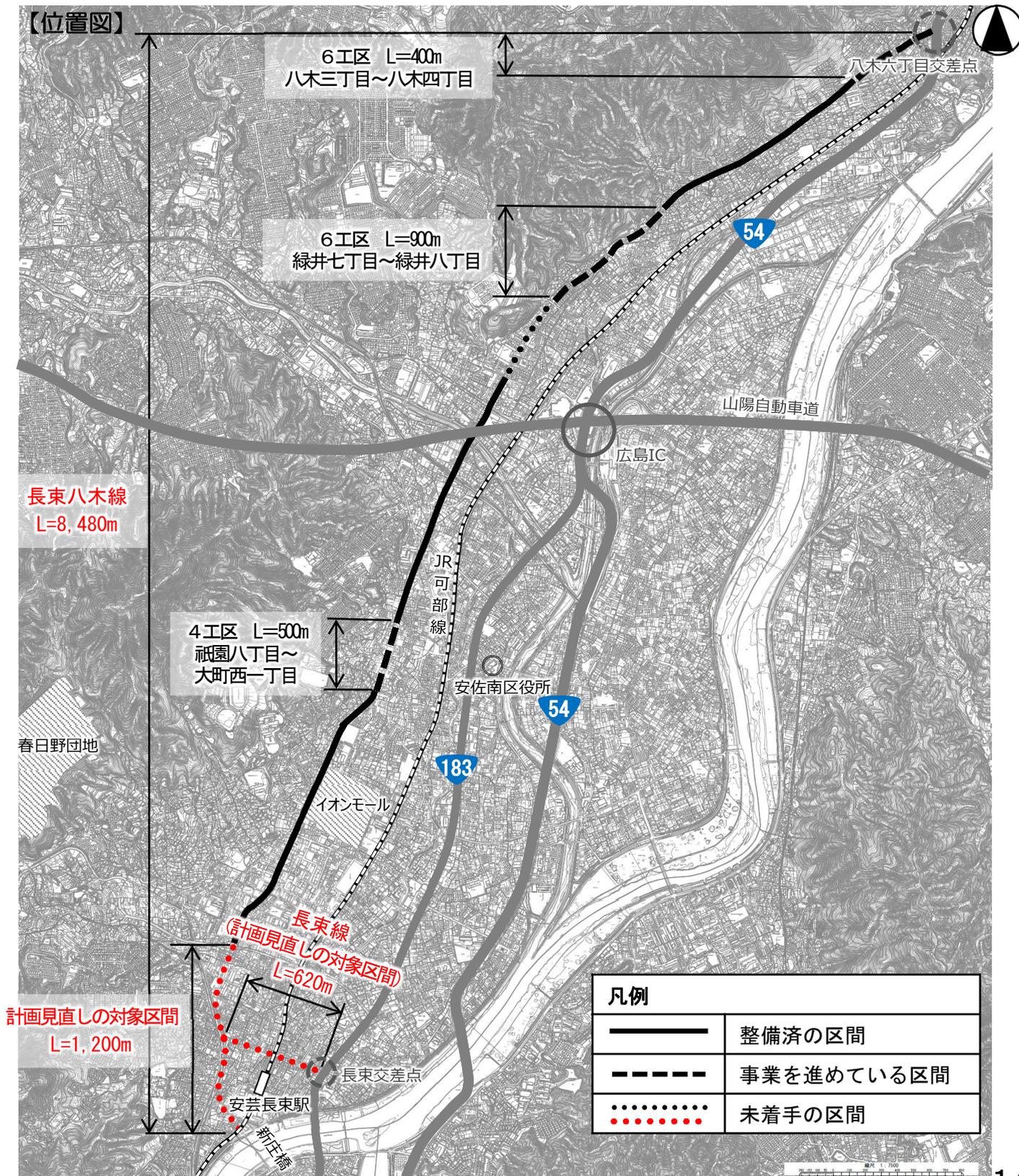


都市計画道路長東八木線及び長東線の計画見直しについて

1 背景

都市計画道路長東八木線及び長東線は、50年以上前の旧祇園町時代に都市計画決定された路線ですが、この整備に当たって、長東八木線については、起点である新庄橋と接続する部分において、4車線の長東八木線が2車線の新庄橋に接続すること、また、長東線については、JR可部線との交差部が平面交差となる計画ですが、現在は原則として踏切の新設が認められていないことなどの課題があることから、これまでこれらの課題への対応について検討を行ってきました。

この度、祇園・西原・山本地区で著しい交通混雑が発生している状況を踏まえ、今後整備を進めていく国道183号の拡幅などのハード対策と併せて、都心方面へのアクセス強化の観点から見直しの検討を進め、計画変更に係る本市の考え方をとりまとめました。



2 現在の都市計画道路について

- 都市計画道路とは、「都市計画法」に基づき位置や構造などを決定している道路のことであり、現在、長束地区では、赤色で着色した区域が都市計画道路となっています。
- この都市計画道路の区域では、将来的に道路整備が円滑に進むよう、建物の建築に際して一定の制限※がかかります。

※ 建築可能な建造物が以下のものに限定されます。

当該建築物が次のいずれの要件にも該当し、かつ、容易に移転し、又は除却することができるものと認められること。

- ・階数が3階以下で、かつ、地階を有しないこと。
- ・主要構造部が木造、鉄骨造、コンクリートブロック造その他これらに類する構造であること。

3 現状

○ 計画の課題

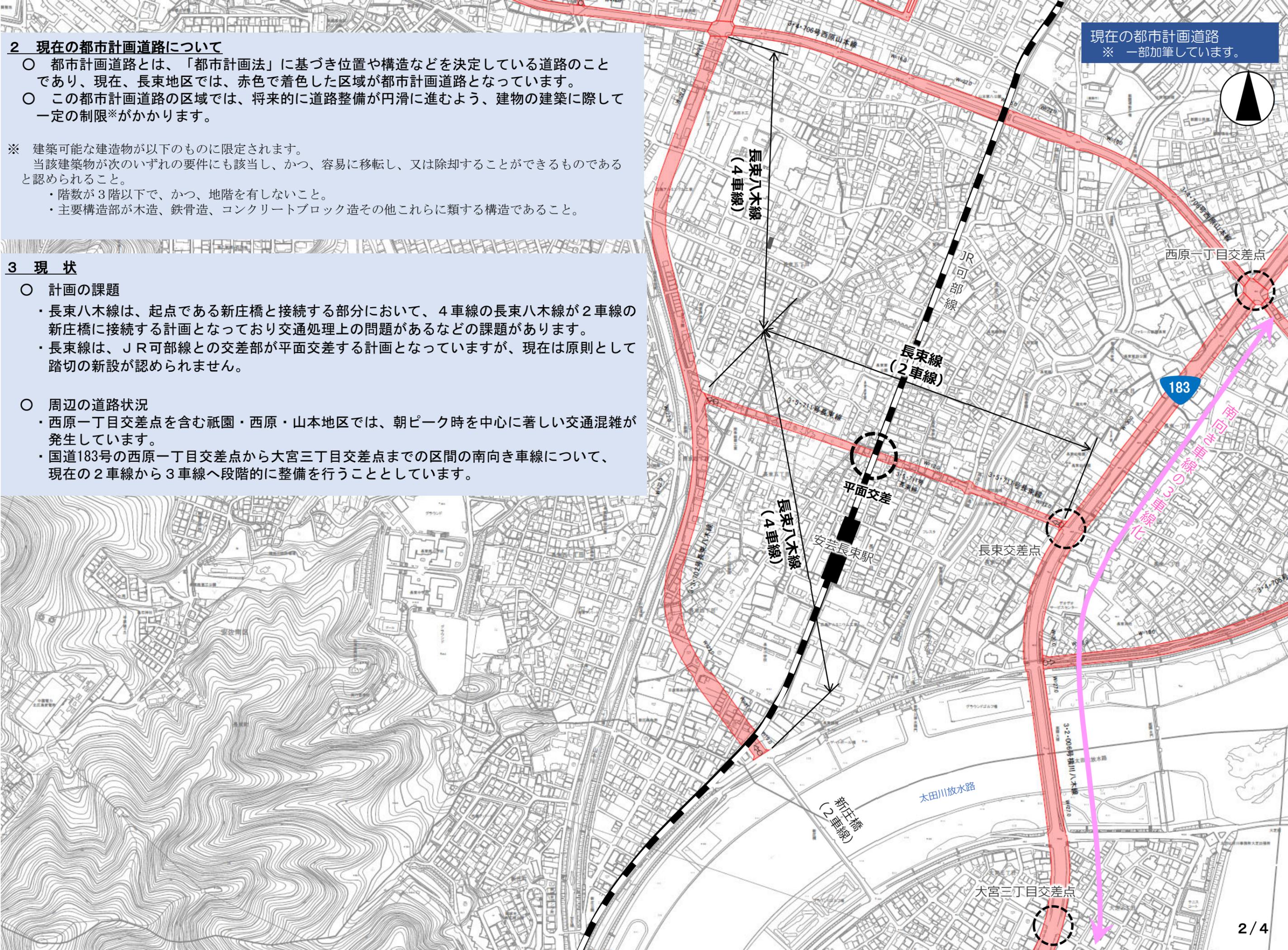
- ・長束八木線は、起点である新庄橋と接続する部分において、4車線の長束八木線が2車線の新庄橋に接続する計画となっており交通処理上の問題があるなどの課題があります。
- ・長束線は、JR可部線との交差部が平面交差する計画となっていますが、現在は原則として踏切の新設が認められません。

○ 周辺の道路状況

- ・西原一丁目交差点を含む祇園・西原・山本地区では、朝ピーク時を中心に著しい交通混雑が発生しています。
- ・国道183号の西原一丁目交差点から大宮三丁目交差点までの区間の南向き車線について、現在の2車線から3車線へ段階的に整備を行うこととしています。

現在の都市計画道路

※ 一部加筆しています。

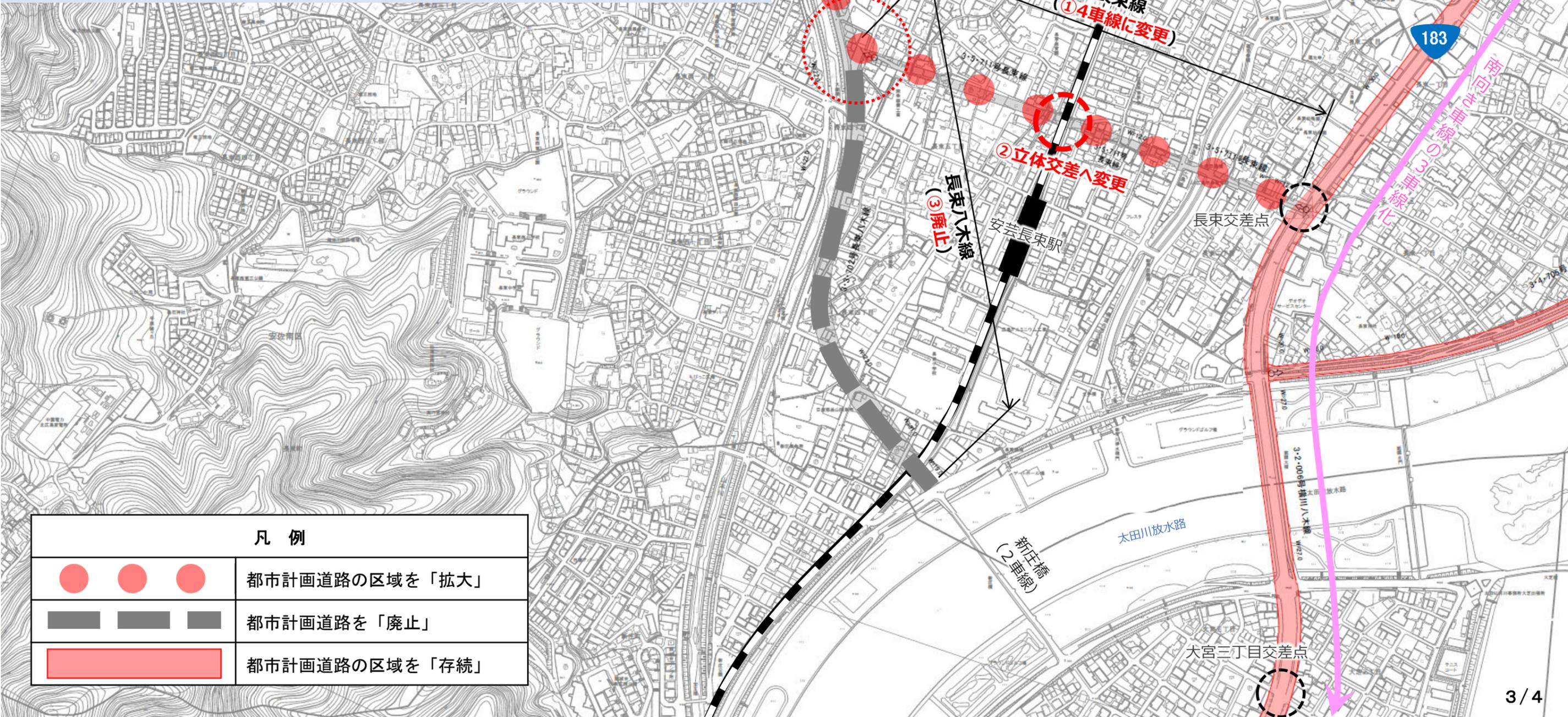


4 見直しの方針

3の現状を踏まえた長束八木線及び長束線の計画見直しの方針は以下のとおりです。

- ①国道183号と長束八木線をつなぐ長束線について、2車線から4車線に変更する。
- ②長束線とJR可部線の交差構造は、平面交差から立体交差に変更する。
- ③長束八木線の長束線から新庄橋までの区間は、計画を廃止する。

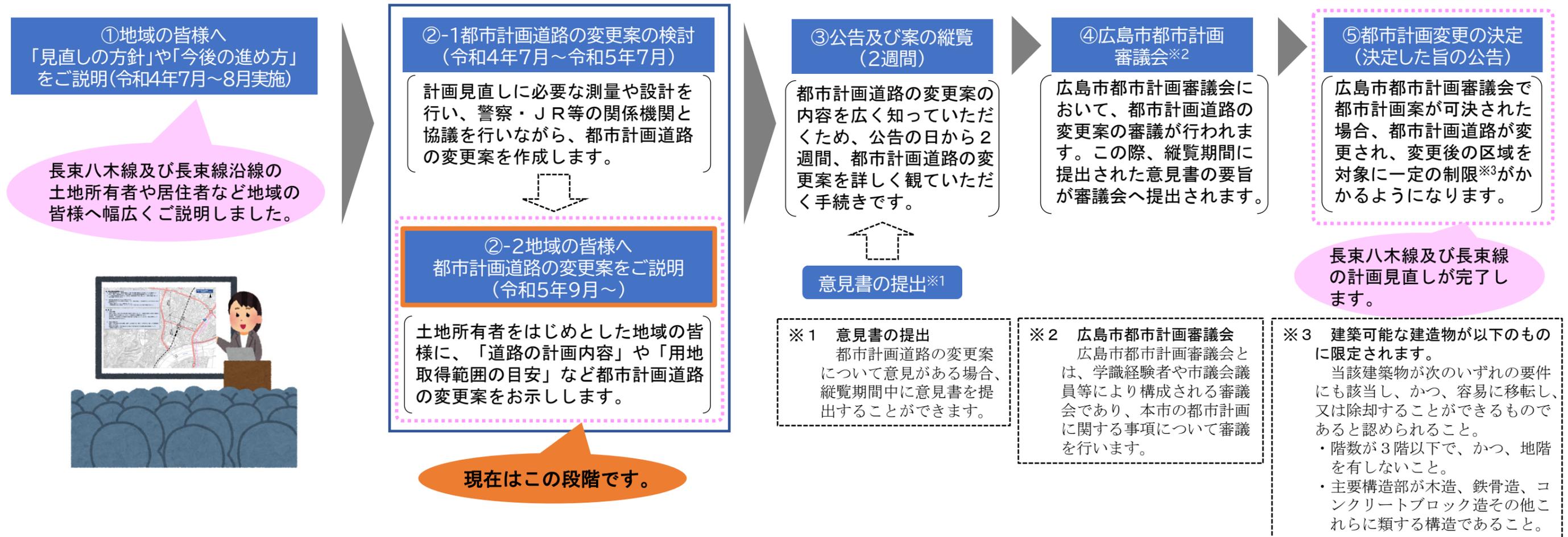
※ 上記の変更に伴い、「長束八木線の一部区間」及び「長束線の全区間」については都市計画道路の区域を拡大します。（●●●●の区間）
 ※ 長束線とJR可部線の立体交差区間には、沿道から長束線などへアクセスするための側道の整備を検討します。
 ※ この図は長束八木線及び長束線の計画変更後のイメージを示したものであり、今後実施する測量や設計の結果によっては、部分的に変更となる場合があります。（○の箇所において、廃止が存続となる等）



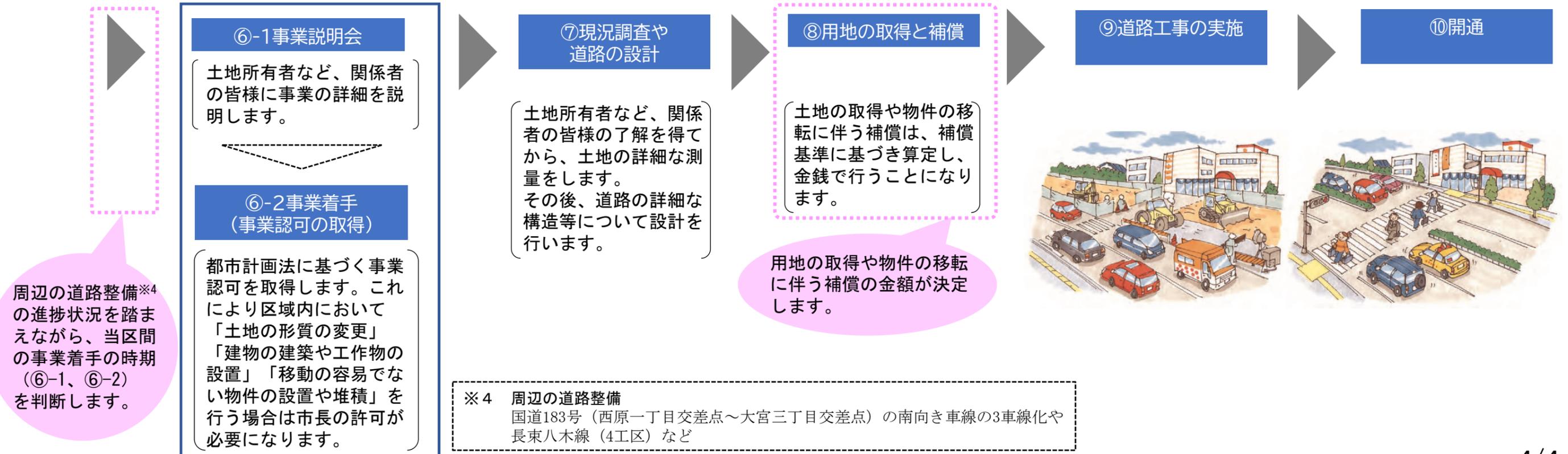
凡 例	
● ● ● ●	都市計画道路の区域を「拡大」
--- --- ---	都市計画道路を「廃止」
■	都市計画道路の区域を「存続」

5 「今後の進め方」について

長束八木線及び長束線については、以下のとおり都市計画変更を行った上で、事業を進めていきたいと考えています。



現在はこの段階です。



周辺の道路整備※4の進捗状況を踏まえながら、当区間の事業着手の時期(⑥-1、⑥-2)を判断します。